

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本美容専門学校
設置者名	学校法人日美学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
美容専門課程	専門科 (昼間部2年制)	夜・通信	1,665 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	総合美容科 (昼間部2年制)	夜・通信	1620 時間	$80 \times 2 = 160$ 時間	
	専門科 (夜間部2年制)	夜・通信	1,665 時間	$45 \times 2 = 90$ 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nichibi.com/ncbwdp/wp-content/themes/nichibi/assets/pdf/school_basic_survey.zip

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本美容専門学校
設置者名	学校法人日美学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.nichibi.com/ncbwdp/wp-content/themes/nichibi/assets/pdf/school_basic_survey.zip

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会計事務所 所長	2023年4月1日～ 2026年3月31日	法人事業、運営のアドバイザー
非常勤	整骨院 院長	2023年4月1日～ 2026年3月31日	法人事業、運営のアドバイザー
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本美容専門学校
設置者名	学校法人日美学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。											
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (美容専門課程：専門科(昼間部2年制・夜間部2年制) 総合美容科：2年制) 【作成について】 各科の授業計画については、毎年度、学内会議を行い授業科目の内容等を検討し各授業を担当する教員等によって作成している。 【時期について】 次年度の授業計画は、毎年11月から12月に担当教員が原案作成し、1月の運営会議時の議案で検討を行い、承認され正式に決まる。 授業計画・シラバスは3月下旬に完成し公表している。											
授業計画書の公表方法	事務局にて、希望する方々に閲覧できるように備える。										
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。											
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) ・学則の細目にて、学内の成績評価、進級、卒業の認定について規定している。 ・成績評価の基準・方法は課目ごとに、認定基準が定められている。 ・試験は100点満点で採点し、専門科60点・総合美容科70点各々合格点未満の学生には追試験を行う。 ・学年ごとに成績通知を行う。 (参考) ・進級・卒業については、定めるところによる、学科目、実技科目の成績及び出席状況によって進級・卒業を認定する。 ・学業成績の評価は、学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明示し、学内において技術毎に認定試験の合格基準を明確に設けている。											
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。											
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・当校では学業成績の評価は主として試験の成績によるものとし、100点を満点とし専門科60点以上・総合美容科70点以上を得たものを合格としている。 ・課目ごとに評価し、平均値を算出している。 ・合格者の評価を下記のように換算し表記する。											
<table><tr><td>評価点数</td><td>100～80</td><td>79～70</td><td>69～60</td><td>59～0</td></tr><tr><td>評定</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr></table>		評価点数	100～80	79～70	69～60	59～0	評定	A	B	C	D
評価点数	100～80	79～70	69～60	59～0							
評定	A	B	C	D							
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.nichibi.com/ncbwdp/wp-content/themes/nichibi/assets/pdf/school_basic_survey.zip 事務局にて、希望する方々に閲覧できるように備える。										

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 【卒業認定の要件】 ・各科目の所定履修時間を履修し、修了すべき学科目について試験を行い、合格者に対して当該学科目の修了を認定する。実習については実習の成績によって修了を認定する ・本校所定の課程を修了した者には学習評価の上、卒業証書を授与する	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.nichibi.com/ncbwdp/wp-content/themes/nichibi/assets/pdf/school_basic_survey.zip 事務局にて、希望する方々に閲覧できるように備える。

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本美容専門学校
設置者名	学校法人日美学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務局にて、希望する方々に閲覧できるように備える。
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
衛生		美容専門課程		専門科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	2010 単位時間		759 時間	171 時間	1080 時間	時間	時間	
				2010 時間					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
740 人		627 人	1 人	33 人		32 人		65 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）様式第2号3「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）様式第2号3「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号3「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」の2.4を参照
学修支援等
（概要）学生の未来をいかに考え、学習面では担任・専任教員・兼任教員によるきめ細やかな指導を行っている他、学業面以外も状況に応じて学年主任や部長との話し合いの場を設けている。個別相談・指導等、手厚い体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
329 人 (100%)	0 人 (%)	325 人 (99%)	4 人 (0.1%)
（主な就職、業界等）美容室・美容関連業等			

(就職指導内容) クラス担任と進路相談室の就職担当者により支援しており、就職活動における心構えや活動方法、面接指導等を「就職ガイダンス」にて伝えるとともに、サロンと連携し「就職説明会」も開催している。

(主な学修成果(資格・検定等))
美容師国家試験・認定フェイシャルエステティシャン・ネイル検定・ジェルネイル検定

中途退学の現状		
2023 年度当初在学者数	2023 年度の途中における退学者の数	中退率
697 人	42 人	6%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、家庭の事情や金銭的などの理由が挙げられる。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学後は、学業面以外も担任によるきめ細やかな指導を行っている他、状況に応じて学年主任や部長との話し合いの場を設けている。また、プロのカウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	総合美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	2,010 時間	780 時間	0 時間	1230 時間	- 時間	- 時間
			2,010 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		51 人	0 人	4 人	20 人	24 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 様式第 2 号 3 「(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
(概要) 様式第 2 号 3 「(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 様式第 2 号 3 「(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」の 2. 4 を参照	
学修支援等	
(概要) 学生の未来をいかに考え、学習面では担任・専任教員・兼任教員によるきめ細やかな指導を行っている他、学業面以外も状況に応じて学年主任や部長との話し合いの場を設けている。個別相談・指導等、手厚い体制を整えている。	

卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
16 人 (100%)	0 人 (0%)	14 人 (88%)	2 人 (12%)
(主な就職、業界等) エステサロン・化粧品会社・ネイルサロン等の美容関連企業			

(就職指導内容)
クラス担任と進路相談室の就職担当者により支援しており、就職活動における心構えや活動方法、面接指導等を「就職ガイダンス」にて伝え個別に対応している。
(主な学修成果(資格・検定等) JEEC 協会等検定・認定フェイシャルエステティシャン・ネイル検定・ジェルネイル検定・INFA 国際ライセンス等・JNA 衛生管理者認定試験・パーソナルカラー検定・日本アロマ環境協会検定 など

中途退学の現状		
2023 年度当初在学者数	2023 年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	4 人	6%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、体調不良、家庭の事情や金銭的などの理由が挙げられる。		
入学後は、学業面以外も担任によるきめ細やかな指導を行っている他、状況に応じて学年主任や部長との話し合いの場を設けている。また、プロのカウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		美容専門課程	専門科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	夜	2010 時間	759 時間	171 時間	1080 時間	-時間	-時間
			2010 時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		70 人	0 人	4 人	17 人	21 人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第 2 号 3 「(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」の 1. を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第 2 号 3 「(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」の 3. を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第 2 号 3 「(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」の 2. 4 を参照
学修支援等
(概要) 学生の未来をいかに考え、学習面では担任・専任教員・兼任教員によるきめ細やかな指導を行っている他、学業面以外も状況に応じて学年主任や部長との話し合いの場を設けている。個別相談・指導等、手厚い体制を整えている。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19 人 (100%)	0 人 (0%)	17 人 (89%)	2 人 (11%)
(主な就職、業界等) 美容室・美容関連企業等			

(就職指導内容)
クラス担任と進路相談室の就職担当者により支援しており、就職活動における心構えや活動方法、面接指導等を「就職ガイダンス」にて伝えるとともに、サロンと連携し「就職説明会」も開催している。
(主な学修成果(資格・検定等))
美容師国家試験・認定フェイシャルエステティシャン・ネイル検定・ジェルネイル検定等

中途退学の現状		
2023 年度当初在学者数	2023 年度の途中における退学者の数	中退率
60 人	3 人	5%
(中途退学の主な理由)		
進路変更、体調不良、家庭の事情や金銭的などの理由が挙げられる。		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
入学後は、学業面以外も担任によるきめ細やかな指導を行っている他、状況に応じて学年主任や部長との話し合いの場を設けている。また、プロのカウンセラーによるカウンセリングが受けられる体制を整えている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)	
専門科 (昼間部) クリエイティブ ヘアデザインコース(HD) クリエイティブ ヘアメイクアップコース(HM)	155,000 円	432,000 円	492,000 円	施設費(光熱費含) 実習費 教育充実費	教材費 1 年次 378,000 円(HD) 398,000 円(HM) 2 年次 209,000 円 諸経費 1 年次 78,000 円 2 年次 95,000 円 卒業費用: 55,000 円
			28,000 円	校外実習予定費(予定金額) (1 年次)	
			48,000 円	校外実習予定費(予定金額) (2 年次)	
専門科 (夜間部) クリエイティブ ヘアデザインコース(HD)	155,000 円	360,000 円	432,000 円	施設費(光熱費含) 実習費 教育充実費	卒業費用: 55,000 円
			48,000 円	校外実習予定費(予定金額) (2 年次)	
総合美容科	155,000 円	432,000 円	492,000 円	施設費(光熱費含) 実習費 教育充実費	教材費 1 年次 350,000 円 2 年次 65,000 円 諸経費 1 年次 70,000 円 2 年次 75,000 円 検定費 1 年次 11,000 円 2 年次 33,600 円 卒業費用: 55,000 円
			18,000 円	校外実習予定費(予定金額) (1 年次)	
			48,000 円	校外実習予定費(予定金額) (2 年次)	

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nichibi.com/ncbwdp/wp-content/themes/nichibi/assets/pdf/school-basic-survey.zip		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
1) 美容業界関係者、卒業生、教育に関し知見を有する者より学校関係者評価委員を選定し、「学校関係者評価委員会」を開催する。 2) 学校関係者評価委員は、「自己評価報告書」の評価項目に対し、当該委員の経験を活かして幅広く評価を行う。 3) 学内担当者は学校関係者評価委員会からの評価結果を、今後の学校運営及び教育活動等への改善に活かしていく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容業界関連団体 理事	2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体の理事。
美容関連会社 代表取締役	2024 年 9 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職。
美容関連会社 代表取締役	2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	専攻分野に関する学会や学術機関等の有識者であり専門的な知見がある。
美容関連会社 代表取締役社長	2024 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日	実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職。
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nichibi.com/ncbwdp/wp-content/themes/nichibi/assets/pdf/school-basic-survey.zip		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nichibi.com/ 入学案内・募集要項(資料請求、来校などで配布)

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113310400131
学校名（〇〇大学 等）	日本美容専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人日美学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		92人	89人	92人
内 訳	第Ⅰ区分	63人	57人	
	第Ⅱ区分	16人	21人	
	第Ⅲ区分	13人	11人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				—
合計（年間）				—
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（1）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

（2）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
G P A 等が下位4分の1	—	—	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	—	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。